

国民救援会
もうすぐ
100年

あなたも「人権の守り手」に 国民救援会にご入会を！



再審無罪判決を喜ぶ袴田巖さんの姉・ひで子さんと弁護団

無実の死刑囚・袴田巖さんが無罪に。
みなさんのご支援ありがとうございます。
事件から59年、死刑台から袴田巖さんが生還しました。
しかしいまも多くの方が冤罪で苦しんでいます。ひきつ
づきみなさんのご支援をお願いします。

日本国民救援会（1928年創立）の紹介

「^{えんざい}冤罪で苦しむ人を救いたい」「こんな理不尽なことは許せない」

日本国民救援会は、1928年に創立されて以来、袴田事件のように人権侵害に苦しむ人たちを支援してきました。いまも全国で約100件の事件を支援しています。

- 弾圧事件 ●冤罪事件（現在24件を支援） ●警察など権力による人権侵害の責任を追及する事件
- 労働事件（不当解雇・雇止め、労災・過労死、不当配転・差別など）
- 市民事件（福島原発裁判、生活保護裁判、年金裁判など）

国民救援会は、人権と民主主義を守るためになくてはならない組織です。人を助ける救援運動は、見返りを求めないヒューマニズムにあふれる運動です。この救援運動が100年近くつづいてきたのは、困難な中でも全国各地で地道に活動する救援会員がいたからです。

あなたも救援運動に参加しませんか。きっとみなさんの人生が豊かになります。心より国民救援会への入会を呼びかけます。



日本国民救援会

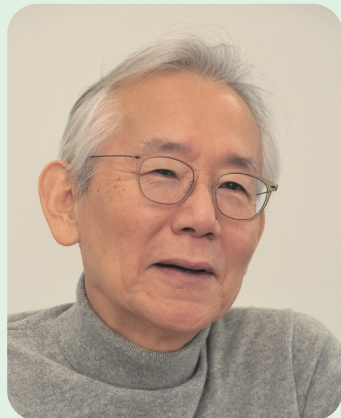
〒113-8463 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター5F

☎ 03(5842)5842 FAX 03(5842)5840

メール info@kyuenkai.org

救援会の皆さん、 胸を張って頑張って

す お まさゆき
映画監督 周防 正行さん



救援会のみなさんには
本当に頭が下がります。
みなさん、ぜひ誇りを
持ってやってほしいと思
います。一つひとつの支
援が目覚ましい成果を上
げるということはそう
ないことなんですが、でも、
困っている人の言葉に耳

を傾けるというその姿勢だけでも、困っている人は
救われるんです。いろんな事件で支援者の存在の大きさを痛感します。

袴田事件では、支援者のみなさんは再審無罪が出る前から、無罪が出た後の検察官の不服申立てをさせない運動をやったわけです。多くの人の理解を得ることが、最終的にとても大きな力になります。それをできるのはやはり市民しかないんですよね。市民が同じ市民のために困っている人の声を聞く。それを裁判所や警察、検察に届ける。

救援会のみなさんは本当に地道な運動をされていて、いつもありがたいと思っています。ときには無力感を覚えることがあるかもしれませんが、それでも続けないと本当の力にはなっていないので、くじけずに頑張してほしいし、ほくもみなさんと一緒に闘いたいと思っています。誇りを持って、胸を張って、頑張ってくださいと思います。

(救援新聞2025年1月5日号より)



奈良県のみなさん

地域に根を張り生き生き活動

「人権の守り手」の救援会員は、全国に3万7千人。
約450の地域に支部があります。

国民救援会の魅力はここ！

救援新聞に寄せられた会員の声を紹介します。

●愛知・青山 浩さん

救援会が全国でとりくんでいる「冤罪」をはじめとした「救援」活動の幅広さには驚きます。労働組合活動や市民活動など、国民・労働者の生活改善や労働条件改善のとりくみを下支えすることで、私たちも心置きなくとりくみを進めることができます。労働運動・市民活動の力強い味方に感謝感激。

●北海道・沓澤啓子さん

裁判所前で勝利報告をする方がたの周りに掲げられた国民救援会の旗には、胸が熱くなります。もっともっと救援会を知ってほしい！

●石川・能沢久代さん

世の中にこんなにも冤罪が多いとは救援新聞を読むまでは知りませんでした。

入会したら…

①あなたの会費が救援運動を支えます。月600円
(新聞代含む)です。

②救援新聞(月3回)を読んで真実を知り広げます
他の新聞にはない事件などの情報が届きます。
知ったことを周りの方に広げます。

③署名などで事件を支援します

署名は裁判官の良心に灯をともし力です。



領収書

様 領収日 年 月 日

★

但 入会金・会費(月～ 月)として領収しました。

日本国民救援会

入会申込書

氏 名

〒

住 所

電話番号

入 会 日 年 月 日 入会金 600円

※再入会の場合、入会金は不要

会 費(月600円・新聞代含) 年 月分～ 年 月分

紹 介 者